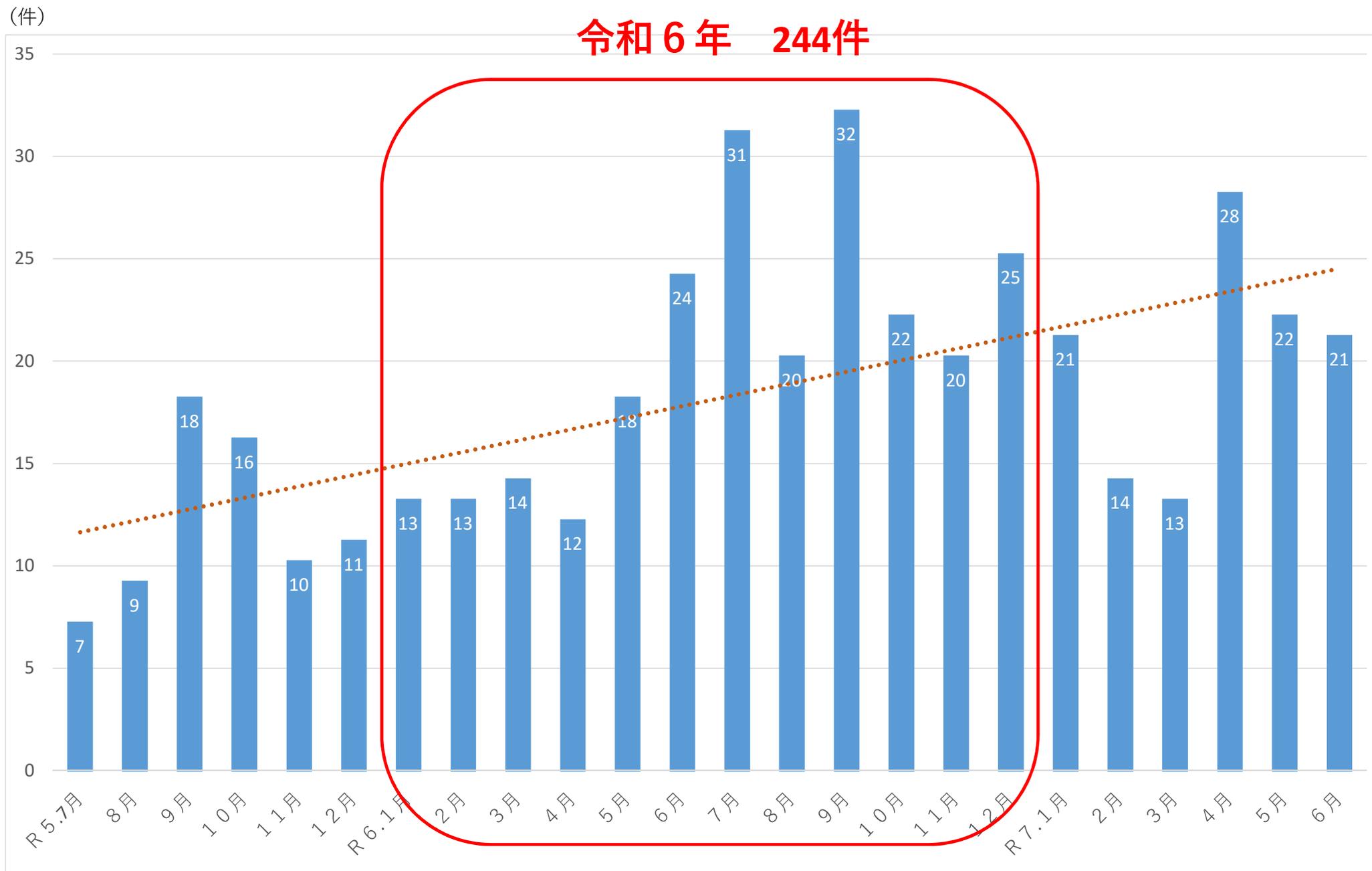


特定小型原動機付自転車^の現状

2025. 9

警視庁交通部交通総務課

特定小型原動機付自転車の交通人身事故発生状況について（都内）



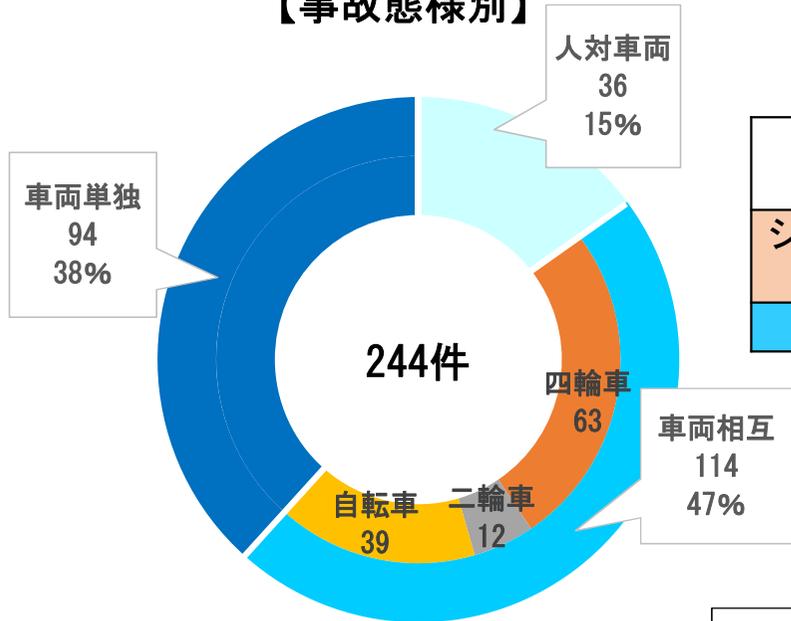
令和5年7月～令和7年6月までの交通人身事故発生件数

※ 令和7年中は暫定値

特定小型原動機付自転車の交通人身事故発生状況について（令和6年）

- ・ 車両相互が約47%、車両単独が約38%、人对車両が約15%。
- ・ シェアリング車両が多く、かつ、個人所有車両と比べてヘルメット着用率が低い。
- ・ 20代が約45%、30代が約29%と若年層が多い。
- ・ 主な損傷部位は、頭部・顔部が過半数。

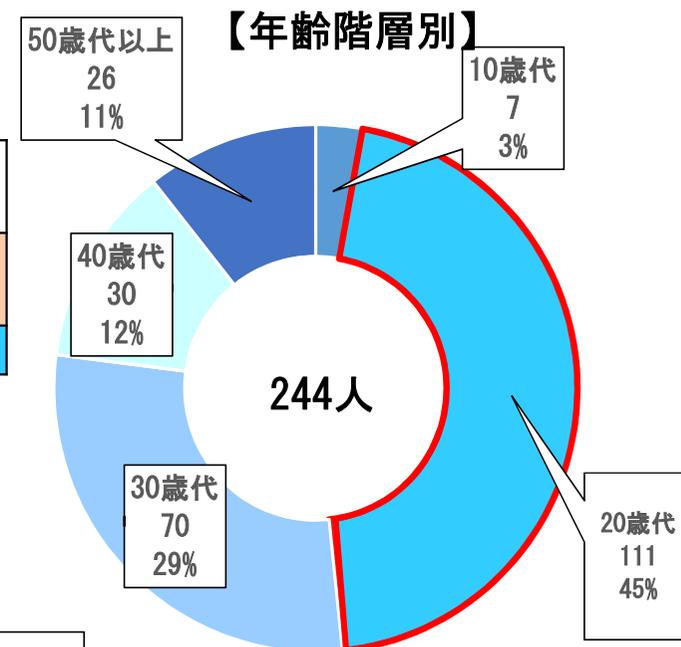
【事故態様別】



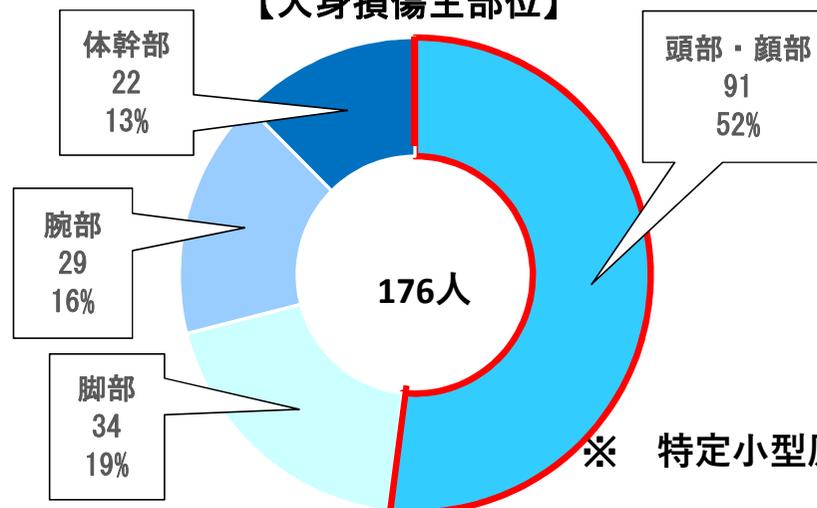
【所有者別】

車両	件数	ヘルメット着用
シェアリング事業者	231	2
個人所有	13	3

【年齢階層別】



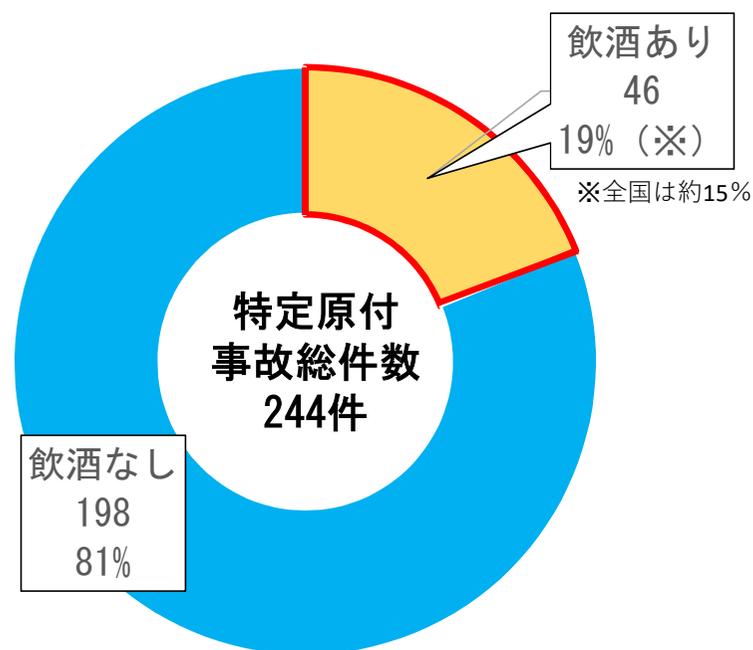
【人身損傷主部位】



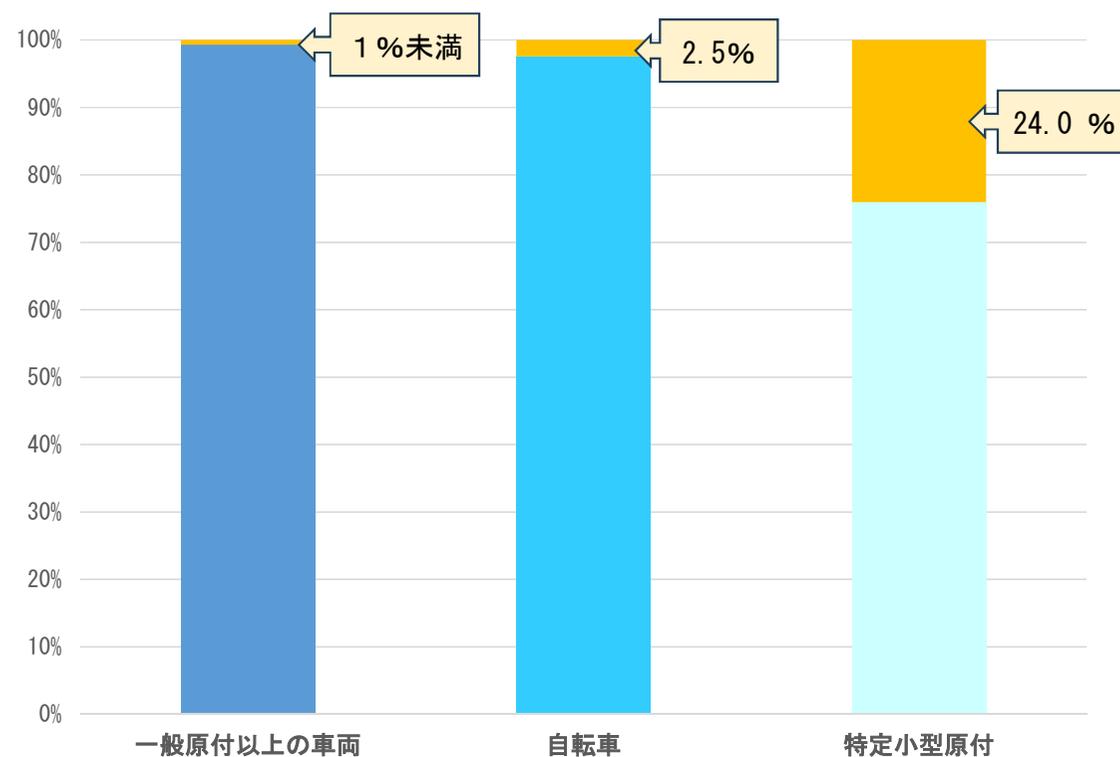
※ 特定小型原動機付自転車の運転者の負傷者数【176人】

- ・ 事故総件数に占める飲酒事故の割合は約19%（全国約15%）。
- ・ 交通事故に占める第1当事者「飲酒あり」の割合は、他の車両と比べて著しく高い。

【飲酒の有無】



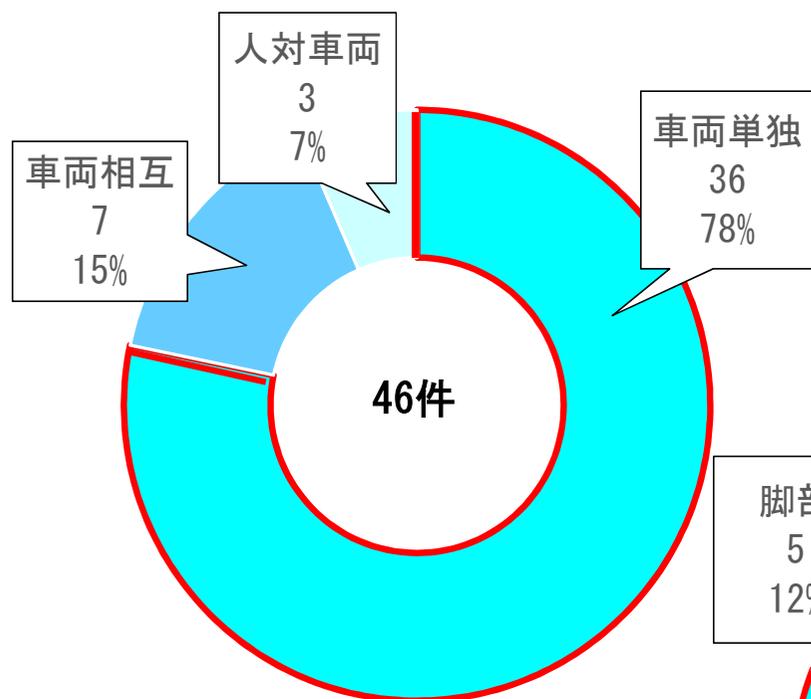
【第1当事者が「飲酒あり」の状態で行った人身事故の割合の比較】



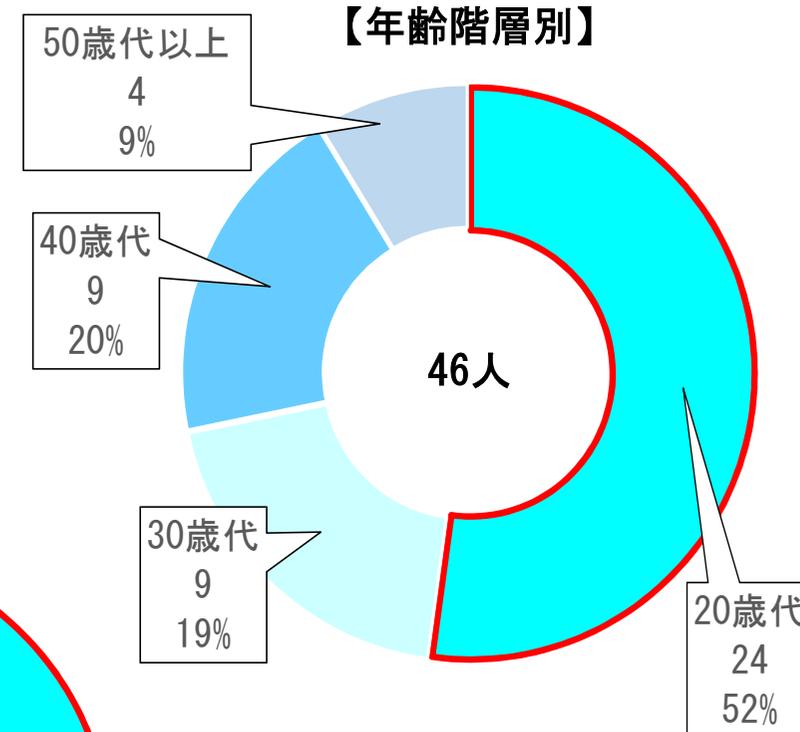
特定小型原動機付自転車の飲酒事故の発生状況について（令和6年）

- 全件がシェアリング車両。
- 単独事故が約78%。
- 20歳代が過半数。
- 主な損傷部位は頭部・顔部が約8割。

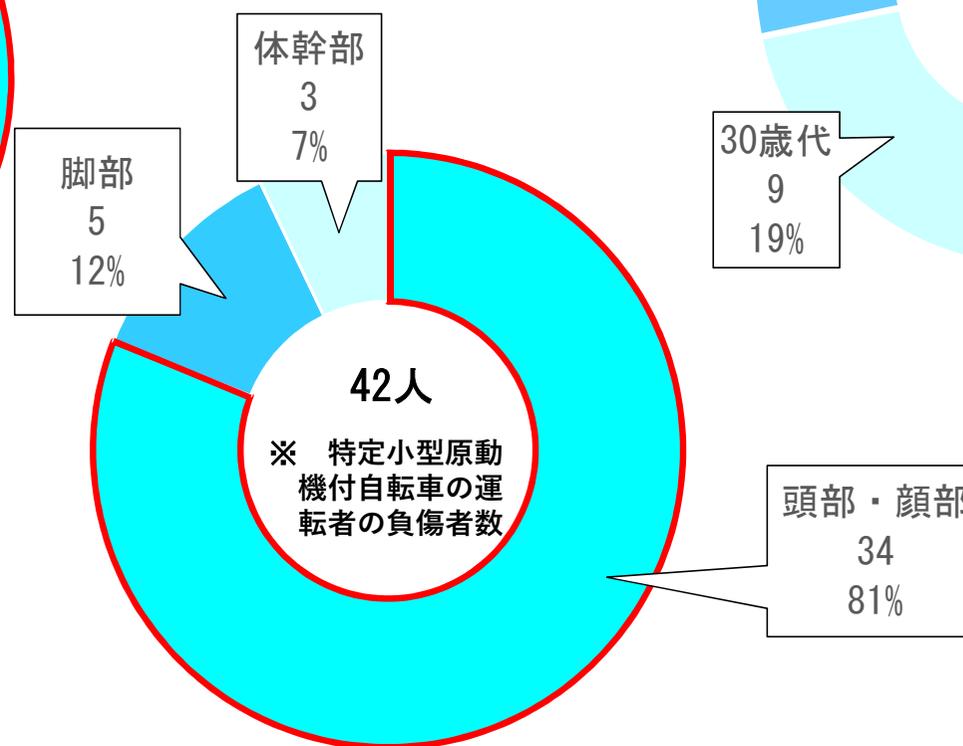
【事故類型別】



【年齢階層別】

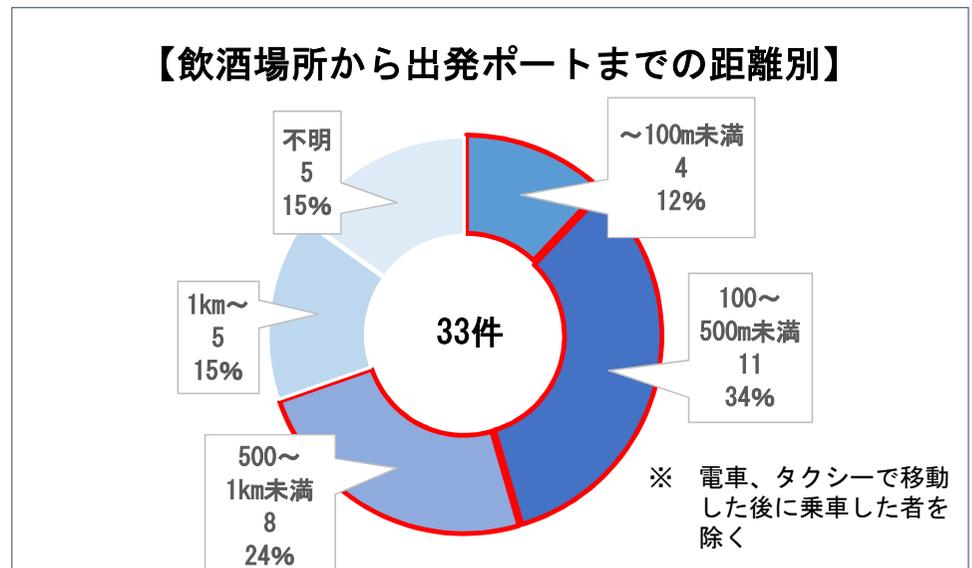
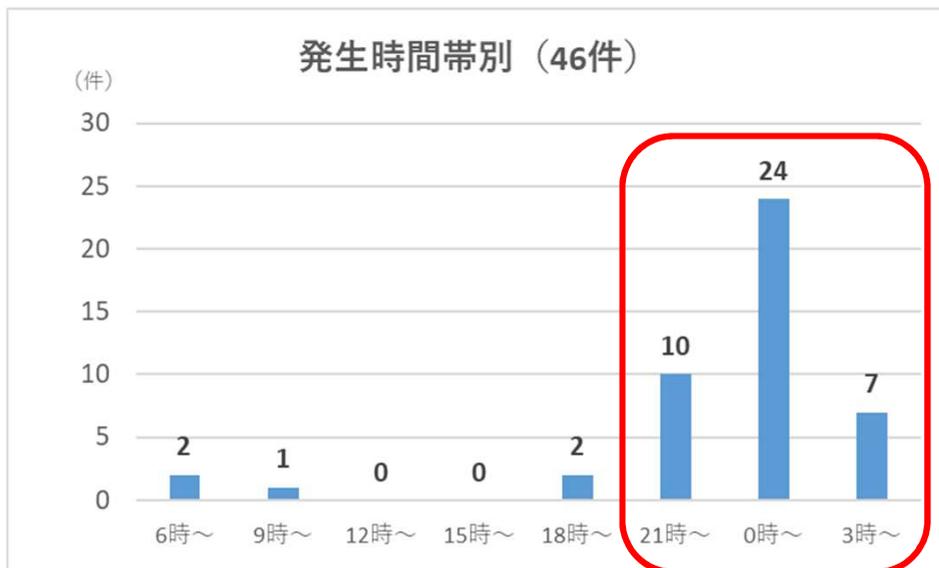
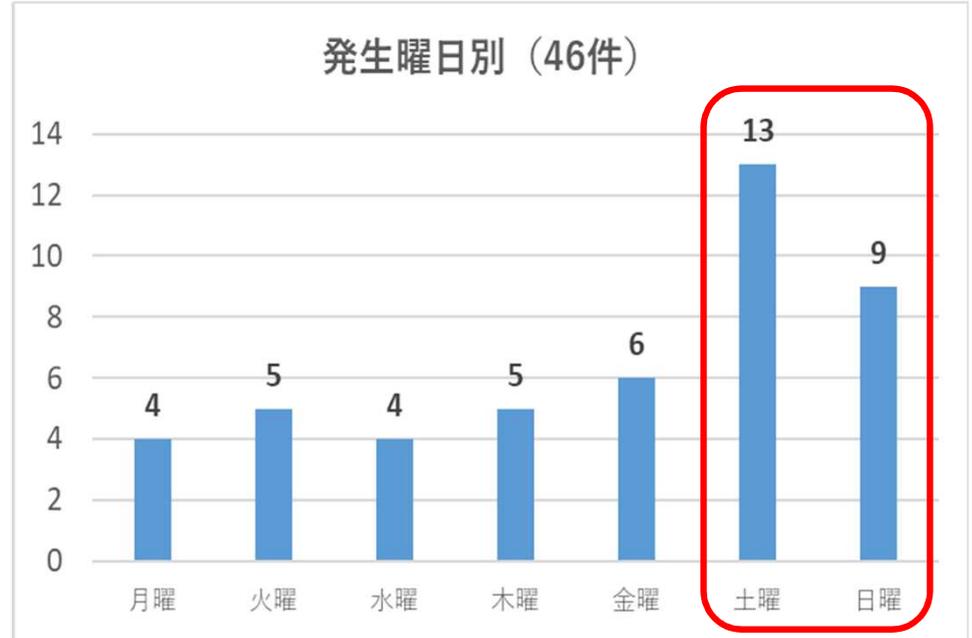
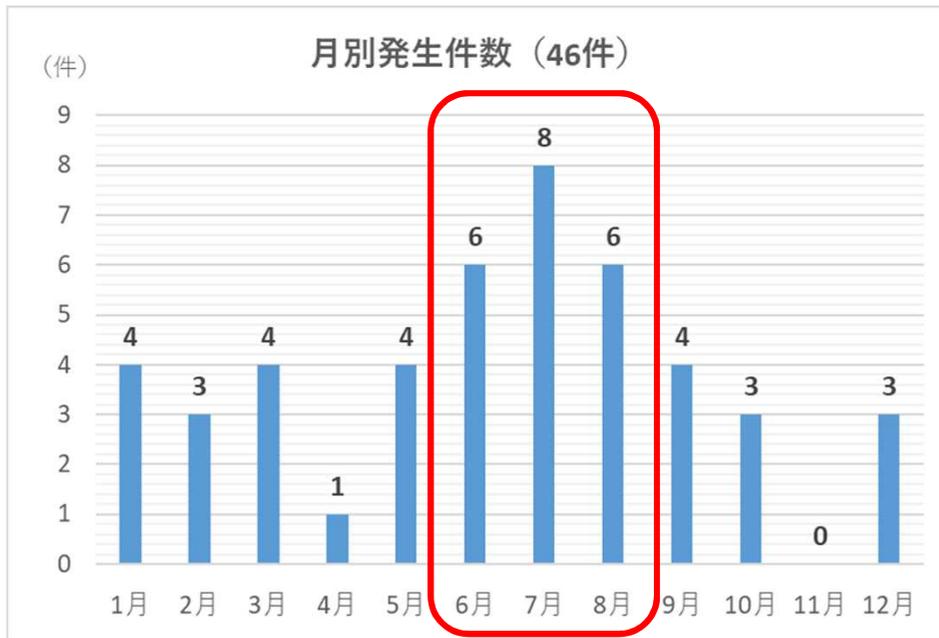


【人身損傷主部位】



特定小型原動機付自転車の飲酒事故の発生状況について（令和6年）

- 発生月別では夏期（6～8月）が約43%、曜日別では土・日が約48%。
- 全体的に夜間の発生が大半を占め、0～3時が過半数で最多。
- 飲酒場所から出発ポートの距離は500m未満が約46%、1km未満が約70%。

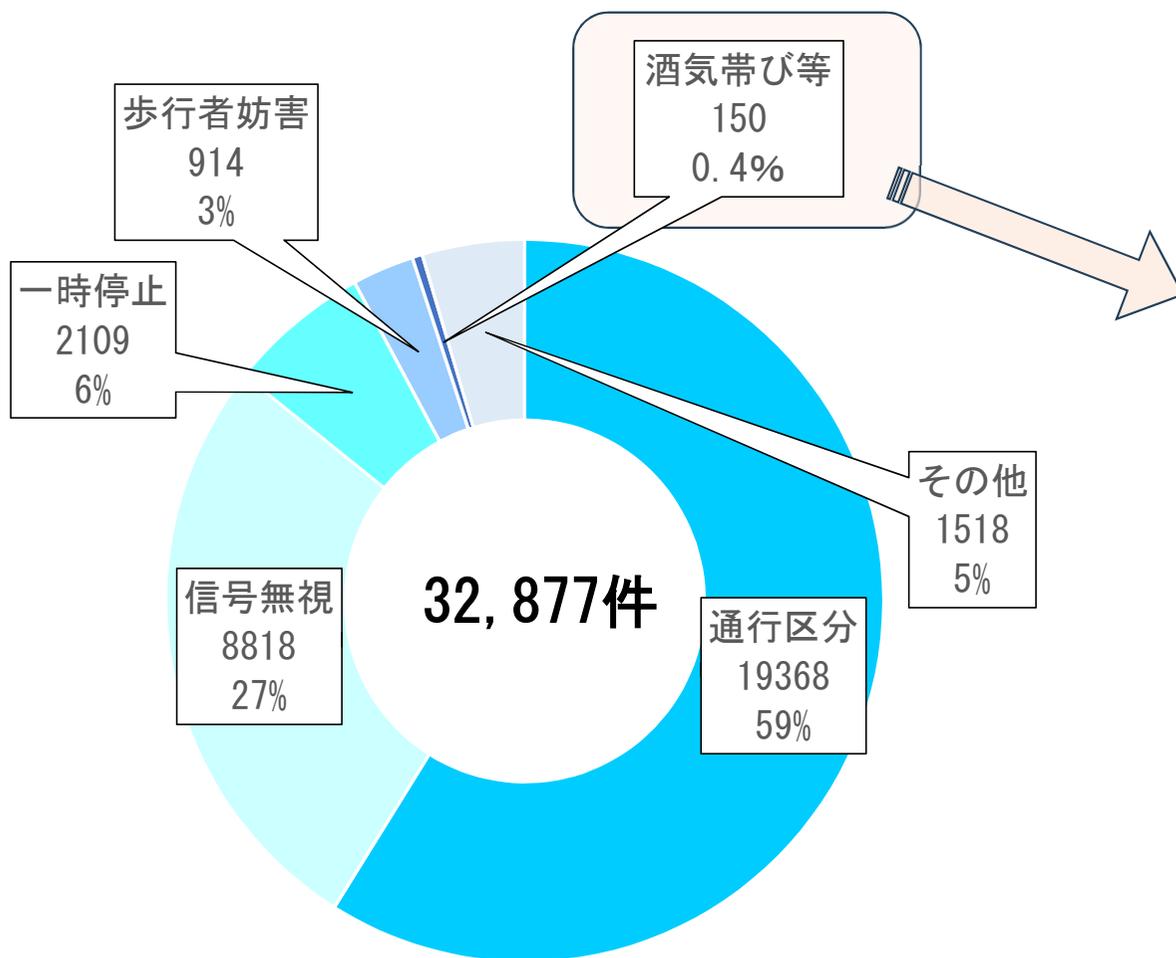


特定小型原動機付自転車の交通違反取締状況について（令和6年）

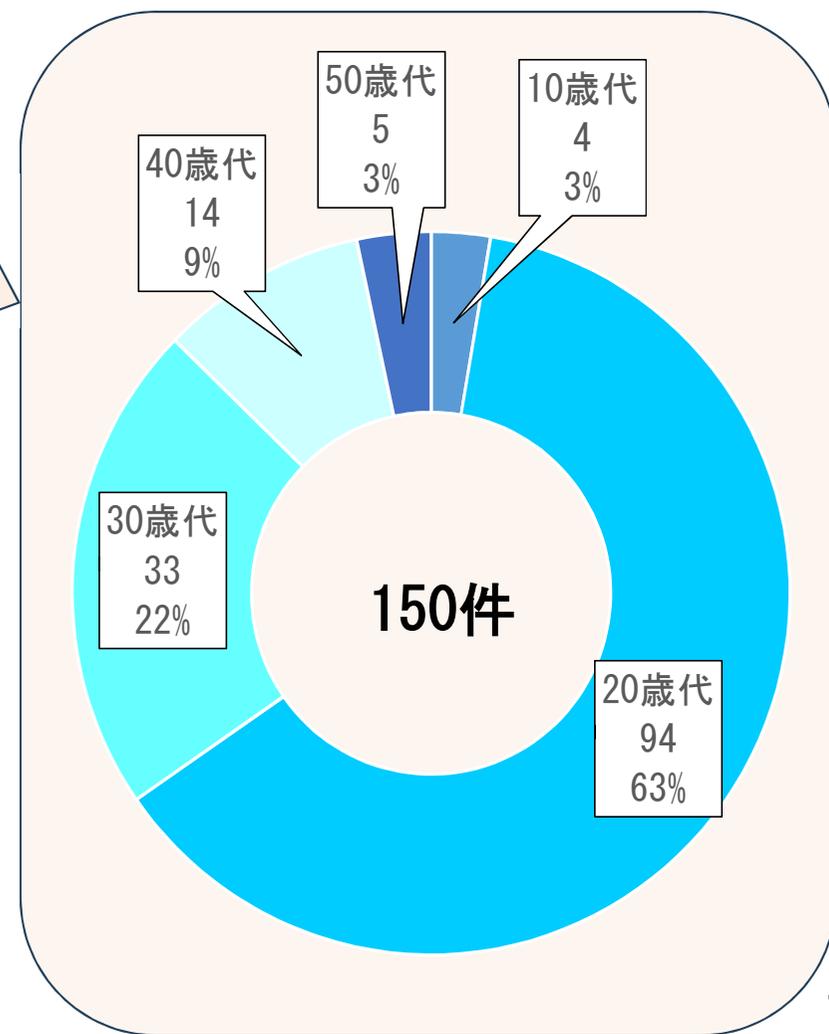
- 交通違反取締件数のうち通行区分違反が約59%、信号無視が約27%。
- 酒気帯び運転等は20代が約6割、30代が約2割と若年層が多い。

【交通違反取締件数】

※ 駐車違反・標章取付を除く



【酒気帯び運転等取締件数】



※ 端数処理のため、合計値は100%にならない